2026年２月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月14日

上 場 会 社 名	株式会社ジェーソン	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3080	URL	https://jason.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長兼会長	（氏名）	太田万三彦
問合せ先責任者	（役職名） 専務取締役管理本部長	（氏名）	山田仁夫　（TEL）04-7193-0911
半期報告書提出予定日	2025年10月15日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年２月期第２四半期（中間期）の連結業績（2025年３月１日～2025年８月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年２月期中間期	14,908	△0.8	290	△46.5	313	△43.9	182	△46.4
2025年２月期中間期	15,033	△1.2	542	△19.5	559	△18.9	340	△21.3

（注）包括利益　2026年２月期中間期　182百万円（△46.4%）　2025年２月期中間期　340百万円（△21.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年２月期中間期	14.24	―
2025年２月期中間期	26.55	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年２月期中間期	12,084	6,315	52.3
2025年２月期	10,859	6,300	58.0

（参考）自己資本　2026年２月期中間期　6,315百万円　2025年２月期　6,300百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年２月期	―	0.00	―	13.00	13.00
2026年２月期	―	0.00			
2026年２月期(予想)			―	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年２月期の連結業績予想（2025年３月１日～2026年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,900	5.7	410	△23.9	440	△23.3	230	△33.4	17.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　１社（社名）　株式会社サンモール

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年２月期中間期	12,812,000株	2025年２月期	12,812,000株
②　期末自己株式数	2026年２月期中間期	280株	2025年２月期	280株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年２月期中間期	12,811,720株	2025年２月期中間期	12,811,720株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年３月１日～2025年８月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、概ね緩やかに回復している一方で、米国の通商政策の影響や物価上昇が個人消費に及ぼす影響などが景気の下振れリスクとなっており、先行き不透明な状況となっております。

小売業界においては、業界の垣根を超えた競争の激化に加え、コメを中心とした各種食料品やエネルギー価格等幅広く物価上昇が進行するとともに、生活防衛から消費者の節約志向が継続しており、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のなか、当社グループは引き続き徹底したローコスト経営を推進すると共に、オリジナル商品等の取扱強化や、今般子会社化した株式会社サンモールとのシナジー創出に鋭意取り組み、「人々の生活を支えるインフラ（社会基盤）となる」という企業理念の下、地域における生活便利店としてチェーンストア経営に注力して参りました。

当中間連結会計期間の業績は、株式会社サンモールの売上を今期より算入しておりますが、遺憾ながら前年同期比微減となりました。依然としてＪＶ商品（※）の仕入環境が厳しく、一部の商品部門を除き集荷が軟調に推移したことが減収の要因です。一方、収益面では、ＪＶ商品の集荷減少等により売上総利益が減少しているほか、M&A関連費用や車輌購入に伴う減価償却費など前向きな投資に係る費用の増加に加え、水道光熱費の高騰などが収益を圧迫し、前年同期比減益となりました。

出店状況については、３月31日（みなし取得日は５月31日）に株式会社サンモールを子会社化したことにより、群馬県沼田市の「サンモール桜町店」、「サンモール鍛治町店」、群馬県利根郡みなかみ町の「サンモール月夜野店」、「サンモール水上店」、群馬県吾妻郡高山村の「サンモール高山店」、群馬県利根郡昭和村の「サンモール昭和店」、計６店舗の運営を引き継ぎました。これにより、ジェーソン直営店舗数は115店舗、サンモール店舗数は６店舗となりました。

当社オリジナル商品の「尚仁沢の天然水」、「はじける強炭酸水（天然水の炭酸水）」はいずれも好調な販売を維持しており、当社全体の業績に貢献しております。また、株式会社尚仁沢ビバレッジにおいては、当会計期間に過去最高の生産本数を更新するなど増産体制が確立され、引き続き連結業績に大きく寄与しました。なお、株式会社サンモールについては、当初計画通り管理体制の強化を推進しつつ、ＪＶ商品の供給を前倒しで実施するなど、シナジー効果の創出を加速しております。

以上の結果、当中間連結会計期間は、売上高14,908,686千円（前期比0.8％減）、営業利益290,137千円（同46.5％減）、経常利益313,987千円（同43.9％減）、親会社株主に帰属する中間純利益182,452千円（同46.4％減）となりました。

なお、当社グループにおいては、小売事業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。

（※）ＪＶ（ジェーソン・バリュー）商品

当社グループの特別な集荷努力により、お客様と当社グループ双方にとってより有利さを実現した商品。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,225,581千円増加し、12,084,841千円となりました。これは主に、現金及び預金が580,595千円、建設仮勘定を含む有形固定資産が296,780千円、売掛金が211,971千円及びのれんが160,226千円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,209,682千円増加し、5,768,937千円となりました。これは主に、買掛金が651,334千円、リース債務を含む有利子負債が279,988千円、未払金が85,146千円及び未払法人税等が56,622千円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15,899千円増加し、6,315,903千円となりました。これは、利益剰余金が15,899千円増加したことによるものであります。

③キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ192,299千円増加し、3,988,317千円となりました。各キャッシュ・フローの主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは958,490千円の収入（前中間連結会計期間は869,361千円の収入）となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加額が514,451千円、税金等調整前中間純利益の計上が313,987千円、棚卸資産の減少額が115,868千円及び減価償却費の計上が112,420千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額が161,296千円及び法人税等の支払額が67,585千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは449,021千円の支出（前中間連結会計期間は211,139千円の支出）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が342,066千円あったものの、定期預金の預入による支出が483,136千円、有形固定資産の取得による支出が166,729千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が143,246千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは317,170千円の支出（前中間連結会計期間は276,924千円の支出）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が150,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出が248,908千円及び配当金の支払額が166,393千円あったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月期の連結業績予想につきましては、前回公表（2025年７月14日）いたしました業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年２月28日)	当中間連結会計期間 (2025年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,113,685	4,694,280
売掛金	435,178	647,150
商品及び製品	2,298,417	2,242,884
原材料及び貯蔵品	23,146	26,879
その他	216,061	222,590
流動資産合計	7,086,489	7,833,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,348,999	3,004,592
減価償却累計額	△1,613,596	△2,110,268
建物及び構築物（純額）	735,402	894,323
機械装置及び運搬具	406,427	468,976
減価償却累計額	△288,738	△331,502
機械装置及び運搬具（純額）	117,689	137,474
工具、器具及び備品	574,910	678,676
減価償却累計額	△484,172	△578,996
工具、器具及び備品（純額）	90,737	99,679
土地	1,123,718	1,175,020
リース資産	368,020	368,020
減価償却累計額	△147,729	△176,019
リース資産（純額）	220,290	192,000
建設仮勘定	3,984	90,104
有形固定資産合計	2,291,823	2,588,603
無形固定資産		
のれん	785	161,012
その他	157,709	159,305
無形固定資産合計	158,494	320,317
投資その他の資産		
敷金及び保証金	969,973	993,942
繰延税金資産	219,680	215,382
その他	132,798	132,810
投資その他の資産合計	1,322,452	1,342,134
固定資産合計	3,772,769	4,251,055
資産合計	10,859,259	12,084,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年２月28日)	当中間連結会計期間 (2025年８月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,040,669	2,692,004
短期借入金	172,000	372,000
1年内返済予定の長期借入金	391,628	381,686
リース債務	67,697	62,441
未払金	447,282	532,428
未払法人税等	99,898	156,521
賞与引当金	43,762	35,078
株主優待引当金	35,973	20,414
その他	146,305	274,228
流動負債合計	3,445,217	4,526,802
固定負債		
長期借入金	141,524	266,586
リース債務	185,885	156,009
繰延税金負債	4,789	6,691
役員退職慰労引当金	395,208	388,902
退職給付に係る負債	182,129	182,402
資産除去債務	188,583	224,661
その他	15,916	16,881
固定負債合計	1,114,038	1,242,135
負債合計	4,559,255	5,768,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	320,300	320,300
資本剰余金	259,600	259,600
利益剰余金	5,720,160	5,736,060
自己株式	△57	△57
株主資本合計	6,300,003	6,315,903
純資産合計	6,300,003	6,315,903
負債純資産合計	10,859,259	12,084,841

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年３月１日 至 2024年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）
売上高	15,033,860	14,908,686
売上原価	11,096,988	11,038,616
売上総利益	3,936,872	3,870,069
販売費及び一般管理費	3,394,704	3,579,932
営業利益	542,167	290,137
営業外収益		
受取利息	895	3,508
受取手数料	8,420	6,945
固定資産賃貸料	4,787	4,684
受取保険金	3,958	8,329
その他	4,077	6,360
営業外収益合計	22,139	29,828
営業外費用		
支払利息	3,453	5,393
固定資産賃貸費用	602	584
その他	360	－
営業外費用合計	4,416	5,978
経常利益	559,890	313,987
特別損失		
固定資産除却損	2,729	－
特別損失合計	2,729	－
税金等調整前中間純利益	557,160	313,987
法人税、住民税及び事業税	214,117	123,788
法人税等調整額	2,837	7,746
法人税等合計	216,954	131,534
中間純利益	340,205	182,452
親会社株主に帰属する中間純利益	340,205	182,452

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年３月１日 至 2024年８月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年３月１日 至 2025年８月31日)
中間純利益	340,205	182,452
中間包括利益	340,205	182,452
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	340,205	182,452

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年３月１日 至 2024年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	557,160	313,987
減価償却費	82,290	112,420
のれん償却額	57	4,167
賞与引当金の増減額（△は減少）	584	△10,584
株主優待引当金の増減額（△は減少）	－	△15,559
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	7,254	△6,305
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,280	273
受取利息	△895	△3,508
支払利息	3,453	5,393
固定資産除却損	2,729	－
売上債権の増減額（△は増加）	△139,603	△161,296
棚卸資産の増減額（△は増加）	△138,033	115,868
仕入債務の増減額（△は減少）	534,432	514,451
未払金の増減額（△は減少）	73,007	70,236
その他	17,200	88,818
小計	1,003,919	1,028,362
利息の受取額	897	3,047
利息の支払額	△3,564	△5,333
法人税等の支払額	△131,891	△67,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,361	958,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△252,067	△483,136
定期預金の払戻による収入	240,062	342,066
有形固定資産の取得による支出	△169,985	△166,729
有形固定資産の除却による支出	△1,403	－
無形固定資産の取得による支出	△890	△248
敷金及び保証金の差入による支出	△35,537	△110
敷金及び保証金の回収による収入	10,099	24
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△143,246
その他	△1,416	2,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,139	△449,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△26,000	△20,000
長期借入れによる収入	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△247,957	△248,908
リース債務の返済による支出	△36,606	△31,868
配当金の支払額	△166,361	△166,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,924	△317,170
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	381,298	192,299
現金及び現金同等物の期首残高	3,927,321	3,796,018
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,308,619	3,988,317

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。